

しまねの国保

S H I M A N E N O K O K U H O

1

2023.JAN
NO.572



「Sparks」(島根県国保連合会野球部)

年頭のごあいさつ

島根県国民健康保険団体連合会 理事長 山本浩章

島根県健康福祉部 部長 安食治外

国民健康保険中央会 会長 岡崎誠也



島根県国民健康保険団体連合会

年頭のごあいさつ

1

島根県国民健康保険団体連合会 理事長 **山本 浩章**
島根県健康福祉部 部長 **安食 治外**
国民健康保険中央会 会長 **岡崎 誠也**

TOPICS

4

国保制度改善強化全国大会

報告

6

第30回島根県国保地域医療学会

速報

10

令和3年度
島根県特定健診・特定保健指導実施状況
令和4年度上半期
島根県国民健康保険医療費

保険者コーナー

18

国保ストリート

川本町 健康福祉課 主事 **堂面 諒**

ガンバッテマス

松江市 東出雲支所 市民生活課 保健師 **安藤 洸**

健康にだんだん

20

あなたもきっとできる！身体活動のコツ

身体教育医学研究所うんなん 主任研究員 **北湯口 純**

お手軽！ヘルシー料理教室

島根県栄養士会 **長谷川 智**

ホッと一息ココロの和カフェ

一畑薬師 管長 **飯塚 大幸**

島根県在宅保健師等の会

24

ホップステップジャンプ

「ぼたんの会」松江地区 **永江 尚美** **外谷 一子**
中尾千代子 **平野 友子**
星野 由美

こくほ随想

25

任務を知ることについて

日本年金機構 副理事長 **樽見 英樹**

連合会日誌

26

11月・12月

PHOTO



「Sparks」（島根県国保連合会野球部）

新年あけましておめでとうございます。

今号の表紙は、本会野球部「Sparks」のメンバーです。見覚えのある顔を発見された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。平均年齢43歳。若干高めではありますが、日々のデスクワークで凝り固まった体を解きほぐし、みんなで楽しく、無邪気に、珍プレー好プレーを繰り広げています。

主な活動は、社会人チーム同士が対戦する『アフター5ナイターリーグ』への参加です。シーズンは5月スタートですが、今年はすでに、期待の新人、女性部員の加入が決まっており、開幕を心待ちにしています。背番号15、ショートを守る彼女（写真：前列中央）の活躍にご期待ください。

今年は「Sparks」に明るい光が差し込みそうです。皆さまにとっても、輝かしい一年となりますよう心からお祈りしております。本年も、何卒よろしくお願い申し上げます。



島根県国民健康保険団体連合会 理事長

山本 浩章
（益田市長）

年頭のごあいさつ

保険者支援の充実強化に努めるとともに 多方面からのニーズに積極的に応える

あけましておめでとうございます。

皆さま方には、新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

本年も引き続き、本会事業運営につきまして格別のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、発生からほぼ3年が経過しましたが、依然として予断を許さない状況が続いています。ワクチン接種の追加、治療薬の開発等が進められているところですが、一日も早い終息を願ってやみません。

さて、我が国の医療保険財政は、急速な

少子高齢化、医療費の高騰等により、年々厳しさを増しております。特に、国保については、年齢構成、医療費が高い一方、所得水準が低く、保険料負担が重いという構造的な問題は解決されず、今後の運営も国庫補助等を前提とし、知恵を絞りながら対応せざるを得ません。

このような中、国においては、全世代型の社会保障制度の実現に向けた改革が進められており、子ども・子育て支援の分野では出産育児一時金の増額等、医療の分野では後期

高齢者の保険料引き上げ等が予定されています。また、4月からは、医療機関等におけるオンライン資格確認が原則義務化

されるとともに、今後は、オンライン資格確認の仕組みを基盤に、自身の保健医療情報の閲覧など、医療・介護分野での情報の利活用が順次拡充されます。本会といたしまして、審査支払機関改革の工程に基づき、各種データの連携、システム運用支援など、その役割を積極的に果たしてまいりたいと考えています。加えて、支払基金との審査基準の統一など課題は山積しています。厚生労働省、国保中央会はもちろん、デジタル庁とも連携して、支払基金とのシステムの共同利用など、具体的な取り組みを進めてまいります。

本年も、保険者の共同体として、審査支払業務はもとより、医療費適正化や保健事業等、保険者支援の充実強化に努めるとともに、国や地方自治体など多方面からのニーズにも積極的に応えることにより社会的責務を果たしてまいります。

皆さま方のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。



島根県健康福祉部 部長

安^あ食^{じき}治^{はる}外^と

年頭のごあいさつ

次期運営方針策定に向けて 市町村・国保連合会と一体となって取り組む

新しい年を迎え、一言ごあいさつを申し上げます。

皆さま方には、平素から国民健康保険の運営につきまして、格別のご支援、ご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症対策につきましても、県民の皆さまや医療関係者の皆さまにご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

県としては、引き続き、市町村、医療機関等と緊密に連携を取りながら、感染拡大防止や医療提供体制の確保、ワクチン接種の促進等に取り組んでまいります。

さて、平成30年度から、国保財政の安定化のため都道府県が財政運営の責任主体となりましたが、皆さま方のご協力により、これまで

大きな収支不足を生じることなく円滑に新制度が運営できたものと考えております。

しかし、被保険者数の減少や高齢者層の増加、医療の高度化に伴う1人当たり医療費の上昇、被用者保険と比較して高齢者や低所得者の割合が多いことによる重い保険料負担など、国保制度の抱える構造的な課題が解決されたわけではありません。

また、国においては、団塊の世代が後期高齢者に移行しつつある中、給付は高齢者

中心、負担は現役世代中心というこれまでの社会保障の構造を見直し、全ての世代が公平に支え合う「全世代対応型社会保障」の考え方に基づき、負担と給付の見直し等が検討されています。

このような状況の中、国保制度を将来にわたって持続可能で安定的なものとするため、国に対して公費の支援を求めていくことはもちろん、保険者として予防や保健事業に積極的に取り組むことが重要と考えており、島根大学と連携し、医療費データ分析体制の構築や、研修用オンデマンド動画の作成などのヘルスアップ支援事業に引き続き取り組んでまいります。

本年は、令和6年度から始まる次期「島根県国民健康保険運営方針」の策定作業を行う重要な一年となります。医療費適正化、事務処理の効率化・標準化・広域化、保険料水準の在り方などの課題に対して、これまで以上に市町村、国保連合会と県が連携し、一体となって取り組んでいくことが重要であると考えておりますので、皆さま方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年が国保制度にとって実り多き年となりますように、また、皆さま方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のごあいさつをいたします。



国民健康保険中央会 会長

おか
しげあき
岡崎誠也

年頭のごあいさつ

保険者業務、地方自治体事業支援に 総力をあげて取り組む

新年あけましておめでとうございます。
令和5年の新春を迎え、一言ごあいさつを
申し上げます。

皆さまには日頃から国保中央会の運営に
対しまして、ご支援とご協力をいただいて
おりますことに厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行については、
感染拡大防止対策と社会経済活動の両立に
向けて、国において取り組みが進められてい
るところですが、季節性インフルエンザとの同時
流行が懸念されるなど、いまだ不透明な状況の
中、最前線で治療や感染防止策に懸命に取り
組んでおられる国保直診施設をはじめとする
医療機関等や自治体関係者などの皆さまの
ご尽力に深く敬意を表します。

さて、少子高齢化の進展と生産年齢人口の
減少に歯止めがかからない中で、国においては、
全ての世代で安心できる全世代型社会保障
制度の確立を目指し、さまざまな改革が進められ
ているところです。

一方、都道府県をはじめとする各地方自治体
では、本年は、2024年度から開始となる
医療費適正化計画、健康増進計画、医療計画、
介護保険事業（支援計画および障害福祉計画等）
を策定する節目の年であり、今後の地域医療・
介護・福祉体制を整備していくうえで、大変
重要な一年となります。

特に、医療分野においては、行政サービスの
デジタル化の推進として、本年4月から保険
医療機関等においてオンライン資格確認等

システムの導入が義務付けられるとともに、
2024年秋にはマイナンバーカードと健康
保険証の一体化を目指すこととされています。

本会は「医療保険情報提供等実施機関」と
して、社会保険診療報酬支払基金とともに、
このシステムの開発と運用に携わっております
ので、今後も国の動向を注視し、これらの取り組み
の普及・促進の一助となるよう努めるとともに、
医療DXなどのデータヘルス改革の推進等に
積極的に対応してまいります。

また、審査支払機能改革工程表に基づき、
医療保険における審査基準の統一化や審査支払
システムの支払基金との共同開発・共同利用を
推進するとともに、介護保険・障害者総合支援
システムの開発・運用、さらには、新型コロナウイルス
ワクチン費用の請求支払業務など、さまざまな
地方自治体事業の支援に取り組んでまいります。

本会といたしましては、全国の国保連合会の
皆さまとこれまで以上に一体となり、全国知事
会、全国市長会、全国町村会をはじめとする
地方団体や国保組合、後期高齢者医療広域連合
などの関係団体とも十分に連携を図りながら、
医療費の審査支払はもとより、国保データベース
（KDB）システムを活用した保健事業やさまざま
な事務処理システムの開発・運用など、保険者の
皆さまの業務支援に総力をあげて取り組む
所存でありますので、一層のご理解、ご協力を
賜りますようお願い申し上げます。

結びに、コロナ禍を乗り越え、新しい年が
明るく希望に満ちた素晴らしい一年となる
ことを心からご祈念申し上げます。新年の
ごあいさついたします。

国保制度改善強化全国大会



国保総合システムの更改および運用に係る財政支援など 11項目の決議を採択 政府および与野党の関係者へ陳情活動

令和4年11月18日、国保中央会など国保関係9団体※は、東京砂防会館において「国保制度改善強化全国大会」を開催した。

本大会には、全国の市町村長等、国保関係者約500人が参加。国保の財政基盤強化に向けた毎年度3400億円の公費投入の確実な実施、普通調整交付金の所得調整機能の堅持、国保総合システムの更改および運用に係る財政支援など11項目の決議を満場一致で採択した。

※国保制度改善強化全国大会・主催者団体

国民健康保険中央会、都道府県国民健康保険団体連合会、全国知事会、全国都道府県議会議員連合、全国市長会、全国市議会議員連合、全国町村会、全国町村議会議員連合、全国国民健康保険組合協会

主催者を代表しあいさつに立った岡崎誠也大会会長（高知県高知市長・国保中央会会長）は、少子高齢化が進む中、医療費の増加はもとより低所得者の増加による構造的な問題に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国保の事業運営は今後も厳しい状況が続くことが見込まれると指摘。その上で、国保制度を持続可能なものとしていくためには、国においても重要な責任をしっかりと果たしていくことが求められると強調した。

また、政府の骨太方針に、生活保護受給者の国保等への加入の議論が盛り込まれたことに言及。国保財政が悪化させる恐れがあることから、一貫して反対するとの姿勢を見せた。さらに、国保総合システムの次期更改や運用にあたっては、国の責任で必要な財政措置を講じることが不可欠であるとし、政府の第2次補正予算案において所要額が措置されたことに

感謝の意を示すとともに、今臨時国会における早期の予算成立を強く要望した。

続いて、木野隆之岐岐阜県輪之内町長（全国町村会代表）が大会宣言を読み上げ、来賓として、加藤勝信厚生労働大臣（伊佐進一厚生労働副大臣兼内閣府副大臣代読）、寺田稔総務大臣（当時）（中川貴元総務大臣政務官代読）、自由民主党の田村憲久社会保障制度調査会会長（元厚生労働大臣）、立憲民主党の牧山ひろえ参院議員会長代行があいさつを述べた。

その後、議事に入り、議長団を選出。鈴木健一三重県伊勢市長（全国市長会代表）が11項目の決議文を発表し、大会の総意として満場一致で採択、田中八洲男島根県議会議員（全国都道府県議会議員連合代表）の閉会の辞をもって、盛会のうちに終了した。大会終了後には、決議の実現に向け、市町村長を先頭に、政府および与野党の関係者に対し陳情活動を展開した。

決議

本日ここに、全国の国民健康保険関係者が一堂に会し、国民健康保険が直面する諸問題の改善を期して、国保制度改善強化全国大会を開催し、慎重審議した結果、次のとおり満場一致これを採択した。
国は、国民健康保険制度の現状を踏まえ、次の事項を必ず実現されるよう本大会の総意をもって強く要望する。

記

- 一、医療保険制度の一本化を早期に実現すること。
- 一、国保の財政基盤強化のための公費投入の確保を確実に実施するとともに、保険者努力支援制度等が有効に活用されるよう、適切な評価と財政支援の充実を図ること。
- 一、普通調整交付金が担う自治体間における所得調整機能は、今後も堅持し、見直しを行わないこと。
- 一、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、国保制度の運営の安定を図るとともに、医療・保健・介護の人材及び公立病院等の医療提供体制を確保するため、地方自治体及び国保連合会に対して十分な支援措置を講じること。
- 一、子どもの医療費助成等の地方単独事業に係る国庫負担減額調整措置の全廃及び子どもに係る均等割保険料(税)の軽減制度の拡充を行うこと。
- 一、生活保護受給者の国保等への加入の議論については、見直しを行わず国としての責任を果たすこと。
- 一、国保総合システムは、医療分野におけるDX推進の柱であり、次期更改や運用に当たっては、市町村等保険者に追加的な財政負担が生じないよう、国の責任において必要な財政措置を確実に講じること。
- 一、国保連合会が地方自治体の医療・保健・福祉業務支援の役割を十分に果たせるよう、必要な措置を講じること。
- 一、国民の健康保持・増進及び医療費適正化に向けKDBシステムの更なる活用を進めるため、制度的役割の拡充を図るとともにシステム更改等に係る財政措置を講じること。
- 一、オンライン資格確認等システムの普及やデータヘルス改革の推進に当たっては、国の責任において財政支援の充実をはじめ必要な措置を講じること。
- 一、国民健康保険組合の健全な運営を確保すること。

右 決議する。

令和四年十一月十八日

国保制度改善強化全国大会



青木一彦議員の秘書(左)へ
本会松本常務理事(右)から説明
(島根県選出国会議員への陳情)



大会を見守る参加者



田中八洲男
島根県議会議長



岡崎誠也 大会会長

制度の普及・医療費の抑制・健康づくり等をサポートします

健診結果の通知用ツールとしてご利用ください

特定健診・注目すべき3つのポイント



あなたの健診結果は
いかがでしたか？

HE320790

A4判／表紙共6頁
巻き三つ折
カラー

定価70円

特定健診 あなたの結果は いかがでしたか？



HE441170

A4判／表紙共4頁
カラー

定価45円

Support Your Healthcare and Lifestyle

健診結果の読み方・ 生かし方



HE320780

監修／
順天堂大学客員教授
奈良信雄

BEATRIX POTTER™
© Frederick Warne & Co., 2022

A4判／表紙共8頁
カラー

定価80円

保険証カードケース

ジェネリック 希望カード付き 保険証ケース



サイズ:60mm×98mm

素材:PP 0.2mm

定価40円

お問い合わせ・ご注文は電話またはFAXで



東京法規出版

〒532-0011 大阪市淀川区西中島7丁目4番21号 ホーククレセント第2ビル5F

電話 (06) 6303-1021 (代表) FAX (06) 6303-1009

フリーダイヤル 0120-102524 ●ホームページアドレス● <http://www.tkhs.co.jp/>

第30回

島根県国保地域医療学会

地域包括ケア 30年の振り返りと未来に向けて



令和4年10月29日、第30回島根県国保地域医療学会を開催。国保直診に加え、行政、介護・福祉施設の関係者等120名がWEB併用により参加した。

第30回の節目となった今学会は、国保直診の成り立ちや取り組みを振り返るとともに、地域医療の発展に貢献された方々への感謝状贈呈等を行った。加えて、講演やシンポジウムを通じて、コロナ禍における地域医療の課題や今後の展望等について意見交換を行った。

開会あいさつに立つた大谷学会長（雲南市病院事業管理者）は、30回の節目に際し、歴代会長、国保直診開設者の功績に感謝。歴史を振り返るとともに、ウィズコロナを見据えた今後の地域包括医療・ケアのあり方について提起した。

続いて、本会の松本常務理事があいさつ。厳しい運営が続く国保の現状にふれ、地域包括医療・ケアの先駆者として、国保直診の活躍に期待を寄せた。

次いで、島根県健康福祉部の安食部長が来賓あいさつ。医療提供体制の確保、地域住民への啓発など、コロナ禍における国保直診の対応に敬意を表すとともに、学会の発展を祈念した。

島根県国民健康保険診療施設協議会会長感謝状贈呈者

前 飯南町長	山崎 英樹 氏
前 海士町長	山内 道雄 氏
雲南市立病院名誉院長	大塚 昭雄 氏
前 安来市病院事業管理者	小川 東明 氏
前 浜田市国民健康保険弥栄診療所長	阿部 顕治 氏
浜田市健康福祉部健康医療対策課医師・参与	平山 敏彦 氏
海士町国民健康保険海士歯科診療所所長	

講演

これからの地域包括医療・ケア

— 国診協の情勢も含め —

全国国民健康保険診療施設協議会(国診協) 会長 小野 剛氏

国保直診の置かれている厳しい環境の中、持続可能な運営を行うために必要な考え方や、地域包括医療・ケアの先進的な取り組み等について講演いただいた。

小野 剛氏〈講師略歴〉

昭和58年 自治医科大学医学部卒業
昭和58年6月 秋田大学医学部附属病院 第一内科
昭和60年6月 町立羽後病院内科科長
平成3年6月 秋田大学医学部附属病院 第一内科
平成5年5月 秋田大学医学部助手
平成7年10月 秋田大学医学部附属病院講師
平成8年4月 町立大森病院 院長
平成10年4月 大森町保健医療福祉総合施設「健康の丘おもり」管理者
兼院長
平成17年10月 市立大森病院 院長
平成24年4月 国診協 常務理事
平成30年6月 国診協 副会長
令和2年6月 国診協 会長



講演の概略

国診協の状況

国診協の主活動は、国保直診の活動支援、学会・研修会の開催、地域包括医療・ケア認定制度の運用等であり、これらを通じて地域包括医療・ケアを推進している。国保直診を取り巻く厳しい環境の中、これまで以上に有用な情報発信を行い、会員施設と双方向につながりながら、次世代を見据えた事業展開を心掛ける。

ポストコロナにおける地域医療

今後は地域における医療機関の役割分担と連携強化が重要である。現状を見る虫の眼、全体を俯瞰して見る鳥の眼、時の流れを見る魚の眼のような視点で、国保直診としてどうあるべきか、どうありたいか未来を描きながら運営していく必要がある。

地域包括医療・ケアと総合診療専門医

国診協では、病気だけではなく人と地域をまるごと診ることのできる総合診療専門医を養成するため、日本地域医療学会を立ち上げた。超高齢化・人口減少社会を迎える中、総合診療専門医を目指す若い医師を増やすことは、国診協の本務だと考える。



司会を務める大谷学会会長



国保直診の運営

国保直診が将来にわたって持続可能な運営を行うためには、①地域の医療環境把握、②診療報酬や政策動向確認、③人員確保と就労環境改善、④地域における役割の検討、以上4点を視野に入れ、地域包括医療・ケアの枠組みにおいてどのような医療機能で地域に貢献するのか、立ち位置を明確にすることが重要である。

シンポジウム

ウィズコロナ

— これからの地域包括医療・ケア —

コロナ禍を踏まえ、地域連携の課題やあり方をテーマに、行政、医療、介護の立場から5題を発表。今後の展望などについて活発なディスカッションを行った。

発言者

1 新型コロナウイルス感染症を踏まえたこれからの地域医療政策

島根県健康福祉部医療政策課 課長 内部 宏氏

2 「コロナ禍における通いの場での介護予防の取り組み」 ～つながりを大切に～

江津市地域包括支援センター 次長 小田みゆき氏

3 Withコロナ 距離を乗り越え、また会おう

町立奥出雲病院 診療部長兼総合診療科部長兼在宅診療センター長 遠藤 健史氏

4 未来予想図 ～人口減少していく中でも住民が望めば安心して地域で暮らし続けるために、診療所を縮小しながら役割を果たしていく方策～

浜田市国保診療所連合体 波佐診療所 所長 佐藤 優子氏

5 福祉・介護事業者としての「これから」に向けた取り組み

社会福祉法人会豊心会 理事長 武部幸一郎氏

助言者

全国国民健康保険診療施設協議会 会長 小野 剛氏

島根県健康福祉部 医療統括監 谷口 栄作氏

司会者

島根県国民健康保険診療施設協議会地域医療委員会

副委員長 山田 顕士氏

(松江市国民健康保険来待診療所所長)

幹事 角田 耕紀氏

(飯南町立飯南病院院長)



助言者



司会者



武部幸一郎氏

豊かな住みよい地域社会をつくるために実践している福祉相談窓口の設置、自治会への出前講座、中学生を対象とした福祉教育等、地域に寄り添った取り組みについて紹介した。



佐藤 優子氏

10年後の地域や診療所を取り巻く状況を予想したうえで、地域包括ケアシステムの拠点として、連合体の各診療所が取り組むべき事項や目指す姿について発表した。



遠藤 健史氏

本県でも総合診療専門医の育成を目指し、島根大学総合診療医センターで国保直診の医師が研鑽を重ねている。コロナ禍によるウェブコンテンツを活用した医学生等への指導・教育の現状について報告した。



小田みゆき氏

コロナ禍の中、高齢者の通いの場において実施している体操教室や、病院と共同で行うフレイル予防の啓発など、介護予防の取り組みについて紹介した。



内部 宏氏

コロナ禍により医療現場への負荷が増す中、今後一層取り組むべきかかりつけ医の確保や、拠点となる医療機関の維持等を踏まえた県の施策（医療と介護の情報連携、医師・看護師等の医療従事者確保）等について報告した。



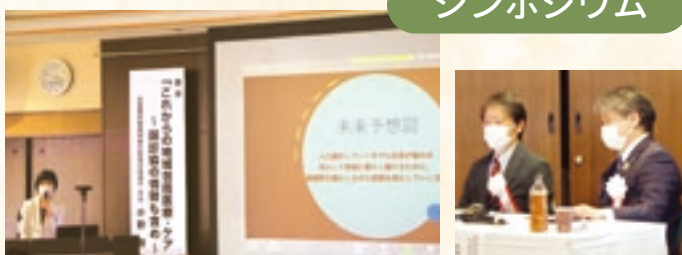
講演



開会



シンポジウム



感謝状贈呈



小川東明氏 (左)、大谷学会長 (右)



山碕英樹氏 (左)
(塚原飯南町長 (右) が駆け付けられました)

マツケイはあなたのニーズとITを結ぶパートナーです。

matsukei

データセンター事業、システム開発(オープンソース: Ruby等)
データエントリ、プリンティング、機器販売

株式会社 マツケイ

TEL : 0852-32-1616

E-mail : contact@matsukei.co.jp

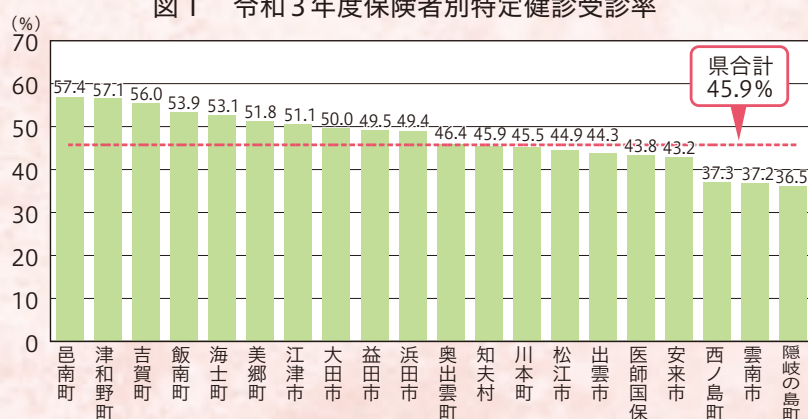
〒690-0046 島根県松江市乃木福富町7 3 5 番地 2 1 1

特定健診受診率45.9%

—対前年度0.8ポイント増—

令和3年度島根県特定健診・特定保健指導実施状況 (速報値)

図1 令和3年度保険者別特定健診受診率

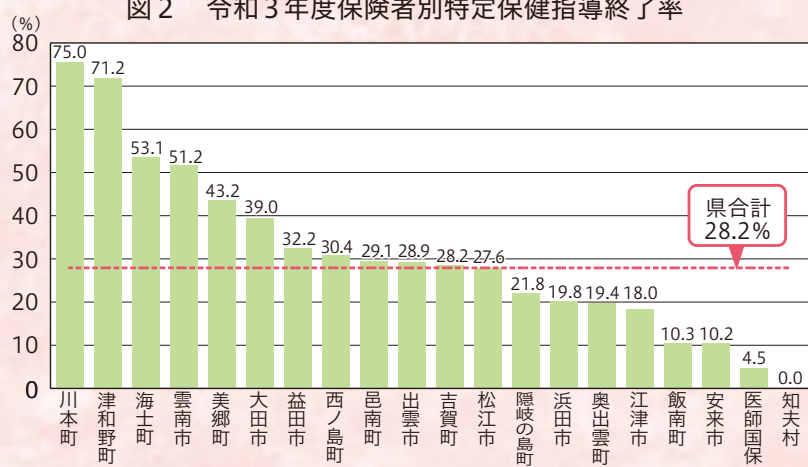


令和3年度の特定健診・特定保健指導の実施状況について、法定報告データを本会で取りまとめたので、速報値として報告する。

●特定健診実施状況

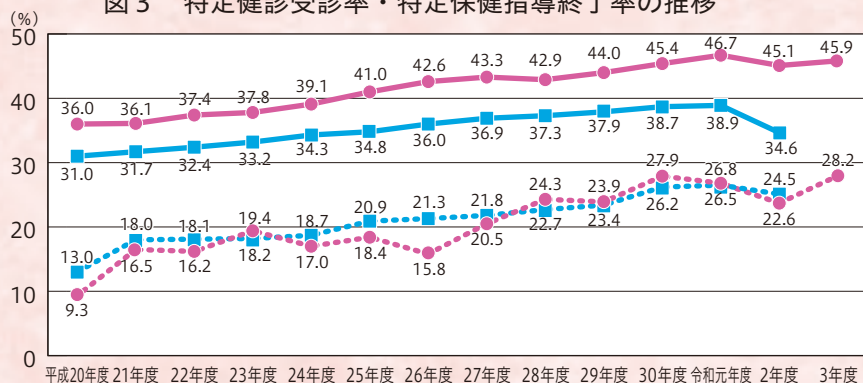
県全体の特定健診対象者は対前年度3340人減の9万5317人、受診者は同820人減の4万3711人、受診率は同0.8ポイント増の45.9%であった。(表1)

図2 令和3年度保険者別特定保健指導終了率



保険者別にみると、受診率が最も高かったのは邑南町の57.4%、次いで津和野町の57.1%、吉賀町の56.0%であった。国の示す目標値(市町村国保60%以上、国保組合70%以上)に達した保険者はなかったものの、対前年度比では、津和野町が6.7ポイント、西ノ島町が6.6ポイント、邑南町が5.7ポイント上昇するなど、16保険者が受診率を伸ばした。(図1、表1)

図3 特定健診受診率・特定保健指導終了率の推移



※島根県：法定報告(速報値)

全 国：厚生労働省公表値をもとに本会で算出(令和3年度は現時点で未発表)

● 特定健診受診率(島根県) ■ 特定健診受診率(全国)
 ● 特定保健指導終了率(島根県) ■ 特定保健指導終了率(全国)

●特定保健指導実施状況

県全体の特定保健指導対象者は対前年度90人減の3961人、終了者は同2000人増の1117人、終了率は同5.6ポイント増の28.2%であり、内訳は、積極的支援21.5%、動機付け支援29.8%であった。(表1)

保険者別にみると、終了率が最も高かったのは川本町の75.0%、次いで津和野町の71.2%で、いずれも国の

示す目標値(市町村国保60%以上)を上回った。対前年度比では、大田市が12・5ポイント、川本町が11・4ポイント、雲南市が11・3ポイントと大幅に上昇するなど、13保険者が終了率を伸ばした。
(図2、表1)

新型コロナウイルス感染症の影響により低下傾向にあった島根県国保(合計)の受診率だが、令和3年度は感染防止対策を講じたうえで、健診実施等、保険者の努力と被保険者の受診行動の回復により再び上昇に転じた。(図3)

一方で、国の示す目標値(市町村国保60%以上、国保組合70%以上)には達していないことから、保険者には引き続き、保健事業の充実や受診率向上への対策強化が求められる。

本会においても、特定健診等の円滑な実施および実施率のさらなる向上を図るため、受診率向上支援事業およびデータヘルスの推進に寄与する情報提供等を通じ、各保険者の取り組みをより一層支援していく。

表1 保険者別特定健診受診率・特定保健指導終了率の状況

(単位: %)

保険者名	特定健診受診率			特定保健指導終了率								
				積極的支援			動機付け支援			計		
				令和2年度	令和3年度	前年比較	令和2年度	令和3年度	前年比較	令和2年度	令和3年度	前年比較
	令和2年度	令和3年度	前年比較									
松江市	44.6	44.9	0.3	15.4	20.1	4.7	23.2	29.6	6.4	21.1	27.6	6.5
浜田市	48.7	49.4	0.7	7.4	14.6	7.2	15.7	20.8	5.1	13.8	19.8	6.0
出雲市	44.6	44.3	▲0.3	14.9	25.4	10.5	25.2	29.9	4.7	21.8	28.9	7.1
益田市	51.5	49.5	▲2.0	22.1	23.5	1.4	31.7	34.2	2.5	29.0	32.2	3.2
大田市	48.6	50.0	1.4	23.3	20.0	▲3.3	28.6	42.4	13.8	26.5	39.0	12.5
安来市	42.8	43.2	0.4	4.3	2.9	▲1.4	6.7	11.5	4.8	5.9	10.2	4.3
江津市	49.5	51.1	1.6	28.0	20.0	▲8.0	13.5	17.7	4.2	14.5	18.0	3.5
雲南市	34.4	37.2	2.8	9.7	39.4	29.7	50.4	54.3	3.9	39.9	51.2	11.3
奥出雲町	43.6	46.4	2.8	7.4	9.1	1.7	22.2	22.5	0.3	15.6	19.4	3.8
飯南町	53.2	53.9	0.7	0.0	0.0	0.0	15.4	11.8	▲3.6	11.3	10.3	▲1.0
川本町	46.9	45.5	▲1.4	55.6	100.0	44.4	66.7	72.2	5.5	63.6	75.0	11.4
美郷町	48.4	51.8	3.4	50.0	100.0	50.0	57.1	40.0	▲17.1	52.0	43.2	▲8.8
邑南町	51.7	57.4	5.7	35.3	14.3	▲21.0	28.8	32.9	4.1	26.7	29.1	2.4
津和野町	50.4	57.1	6.7	73.3	69.2	▲4.1	77.1	71.7	▲5.4	71.4	71.2	▲0.2
吉賀町	54.0	56.0	2.0	14.3	6.7	▲7.6	25.0	33.9	8.9	22.6	28.2	5.6
海士町	52.6	53.1	0.5	66.7	41.7	▲25.0	63.2	60.0	▲3.2	60.7	53.1	▲7.6
西ノ島町	30.7	37.3	6.6	60.0	33.3	▲26.7	30.8	29.4	▲1.4	38.9	30.4	▲8.5
知夫村	42.7	45.9	3.2	66.7	0.0	▲66.7	60.0	0.0	▲60.0	62.5	0.0	▲62.5
隠岐の島町	31.3	36.5	5.2	5.9	5.9	0.0	26.7	24.1	▲2.6	23.0	21.8	▲1.2
市町村計	45.1	45.9	0.8	17.9	21.9	4.0	25.3	30.0	4.7	22.9	28.5	5.6
医師国保組合	45.2	43.8	▲1.4	0.0	0.0	0.0	8.6	7.1	▲1.5	4.2	4.5	0.3
県合計	45.1	45.9	0.8	17.6	21.5	3.9	25.1	29.8	4.7	22.6	28.2	5.6

※令和2年度受診率および令和2年度終了率(計)は国の公表値、それ以外は本会で集計した値

受診率向上の手法・保険者努力支援制度の対策をご提案いたします

キャンサースキャンでできること

島根県国保連合会と共同で、未受診者対策を行っています

POINT 1 対象者選定



誰に何を送るべきかを
人工知能で解析する
※特許取得(特許第6548243号)

POINT 2 送り分け



特性に合わせた受診勧奨資料
(マーケティング技術を
駆使したメッセージ)

POINT 3 効果検証



効果検証して
次につなげる



株式会社キャンサースキャン info@cancerscan.jp
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-3-8 五反田PLACE 2F

▼お気軽にご相談ください

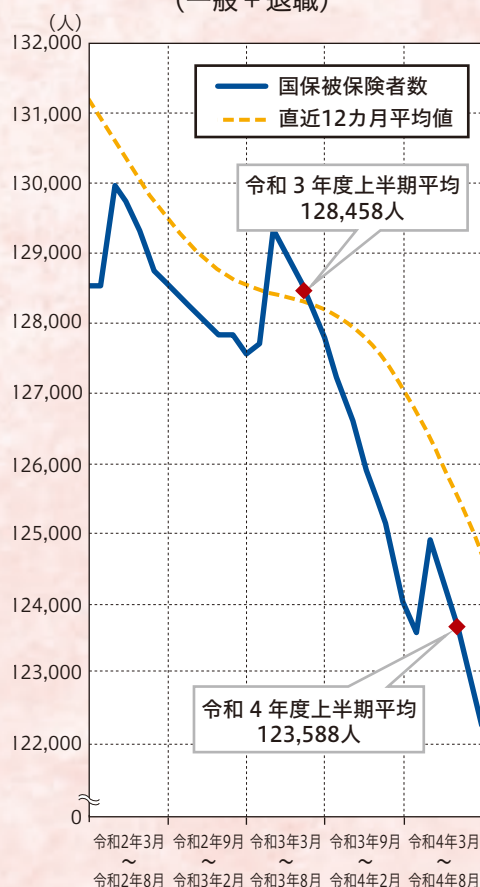
☎ 03-6420-3390

上半期国保費用額は299億6253万円

一団塊の世代が後期高齢者へ移行、被保険者数の減少が顕著に一

令和4年度上半期 島根県国民健康保険医療費 (令和4年3月～8月診療分) (国保連合会速報値)

図1 被保険者数の推移
(一般+退職)



● **平均被保険者数(図1、表2)**
令和4年度上半期の平均被保険者数は12万3588人で、対前年同期比4870人の減(▲3.79%)となった。被保険者数は継続的に減少しているが、令和4年から団塊の世代が75歳に到達し、後期高齢者へ移行し始めているため、減少傾向がより強まっている。

● **レセプト件数(表1、2)**
レセプト件数は119万4574件で、対前年同期比1万8082件の減(▲1.49%)となった。レセプト件数の減少は、被保険者数の減少が原因と考えられる。

診療区分別にみると、入院が901件の減(▲4.16%)、入院外

令和4年度上半期の医療費(レセプト件数、費用額等)の状況について、本会での審査支払額が確定したので速報値として公表する。集計対象は、令和4年3月から8月診療分まで。
令和4年度上半期の費用額は約299億6253万円と、対前年同期比で約7億1232万円の減となった。令和4年から団塊の世代(昭和22～24年生まれ)が後期高齢者へ移行し始めていることから、国保被保険者数の減少傾向が強まっており、費用額の減少にも影響したと考えられる。
以降、前年同期比で島根県全体の主だった特徴などを掲載する。

費用額(内科(入院、入院外)、歯科、調剤に係る、保険者負担、患者負担、他公費負担を含めた額を指す。なお、入院には食事療養費・生活療養費を含む。)

が1万2041件の減(▲1.90%)、歯科が2484件の減(▲1.93%)、調剤が2656件の減(▲0.62%)と、全ての区分において減少した。

● 診療日数(表1)

診療日数は147万505日で、対前年同期比4万6959日の減(▲3.09%)となった。

診療区分別では、入院が1万2859日の減(▲3.47%)、入院外が2万4523日の減(▲2.63%)、歯科が9577日の減(▲4.49%)となった。

● 費用額(図2、表1、2)

費用額は約299億6253万円と、対前年同期比で約7億1232万円の減(▲2.32%)となった。後述のとおり、1人当たり費用額は増加していることから、費用額の減少には被保険者数の減少が影響していると考えられる。

診療区分別では、入院が約3億6030万円の減(▲2.66%)、入院外が約2億4390万円の減(▲2.47%)、歯科が約6289万円の減(▲3.57%)、調剤は約4524万円の減(▲0.83%)と、レセプト件数と同様、全ての区分で減少した。

図2 費用額の推移（一般＋退職）

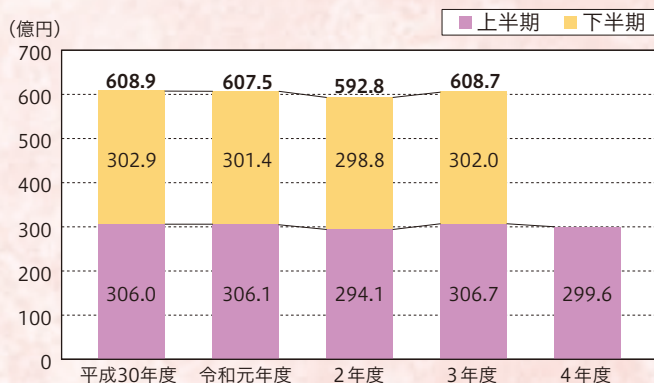


図3 上半期1人当たり費用額（一般＋退職）

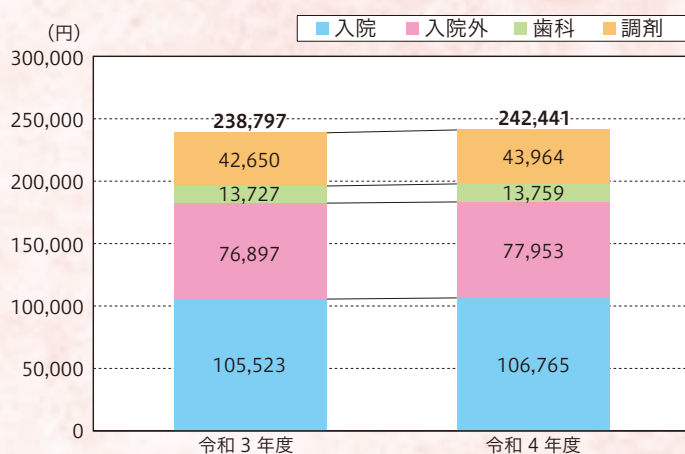


表1 上半期国保医療費等の状況（一般＋退職）

	入 院			入院外			医科（入院＋入院外）		
	令和3年度	令和4年度	伸び率(%)	令和3年度	令和4年度	伸び率(%)	令和3年度	令和4年度	伸び率(%)
レセプト件数（件）	21,671	20,770	▲ 4.16	632,227	620,186	▲ 1.90	653,898	640,956	▲ 1.98
診療日数（日）	370,351	357,492	▲ 3.47	933,969	909,446	▲ 2.63	1,304,320	1,266,938	▲ 2.87
費用額（千円）	13,555,054	13,194,755	▲ 2.66	9,877,892	9,633,994	▲ 2.47	23,432,946	22,828,750	▲ 2.58
1人当たり費用額（円）	105,523	106,765	1.18	76,897	77,953	1.37	182,420	184,718	1.26
受診率（%）	16.87	16.81	▲ 0.36	492.18	501.82	1.96	509.05	518.63	1.88
1件当たり日数（日）	17.09	17.21	0.70	1.48	1.47	▲ 0.68	1.99	1.98	▲ 0.50
1日当たり費用額（円）	36,601	36,909	0.84	10,576	10,593	0.16	17,966	18,019	0.30
1件当たり費用額（円）	625,493	635,280	1.56	15,624	15,534	▲ 0.58	35,836	35,617	▲ 0.61

	歯 科			調 剤			合 計		
	令和3年度	令和4年度	伸び率(%)	令和3年度	令和4年度	伸び率(%)	令和3年度	令和4年度	伸び率(%)
レセプト件数（件）	128,985	126,501	▲ 1.93	429,773	427,117	▲ 0.62	1,212,656	1,194,574	▲ 1.49
診療日数（日）	213,144	203,567	▲ 4.49				1,517,464	1,470,505	▲ 3.09
費用額（千円）	1,763,311	1,700,423	▲ 3.57	5,478,593	5,433,355	▲ 0.83	30,674,850	29,962,527	▲ 2.32
1人当たり費用額（円）	13,727	13,759	0.23	42,650	43,964	3.08	238,797	242,441	1.53
受診率（%）	100.41	102.36	1.94				609.46	620.99	1.89
1件当たり日数（日）	1.65	1.61	▲ 2.42				1.94	1.92	▲ 1.03
1日当たり費用額（円）	8,273	8,353	0.97				20,215	20,376	0.80
1件当たり費用額（円）	13,671	13,442	▲ 1.68	12,748	12,721	▲ 0.21	25,296	25,082	▲ 0.85

●1人当たり費用額

（図3-7、表1、3）

1人当たり費用額は24万2441円で、対前年度比3644円の増（1.53%）となった。1人当たり費用額の増加は、1件当たり費用額が減少した一方で、受診率が上昇したことに起因している。

診療区分別では入院が1242円の増（1.18%）、入院外が1056円の増（1.37%）、歯科が32円の増（0.23%）、調剤は1314円の増（3.08%）となった。

●受診率（図7、表1、3）

受診率（1人当たりレセプト件数を百分率で表したもの）は620.99%で、対前年度比で11.53ポイントの増（1.89%）となった。

診療区分別では、入院が0.06ポイントの減（▲0.36%）、入院外が9.64ポイントの増（1.96%）、歯科が1.95ポイントの増（1.94%）と、入院外の伸びが全体の伸びに寄与している。

●1件当たり日数(表1)

1件当たり日数は1・92日で、対前年度比0・02日の減(▲1・03%)であった。

診療区分別では、入院が0・12日の増(0・70%)、入院外が0・01日の減(▲0・68%)、歯科が0・04日の減(▲2・42%)となった。

●1日当たり費用額(表1)

1日当たり費用額は2万376円で、対前年度比161円の増(0・80%)となった。

診療区分別にみると、入院が308円の増(0・84%)、入院外が17円の増(0・16%)、歯科が80円の増(0・97%)となった。

●1件当たり費用額

(図7、表1、3)

1件当たり費用額は2万5082円で、対前年度比214円の減(▲0・85%)となった。

診療区分別にみると、入院が9787円の増(1・56%)、入院外が90円の減(▲0・58%)、歯科が229円の減(▲1・68%)、調剤が27円の減(▲0・21%)となった。

表2 上半期保険者別平均被保険者数・医療費の状況(一般+退職)

(レセプト件数および費用額は医科・歯科・調剤の計)

保険者名	平均被保険者数(人)			レセプト件数(件)			費用額(千円※)		
	令和3年度	令和4年度	伸び率(%)	令和3年度	令和4年度	伸び率(%)	令和3年度	令和4年度	伸び率(%)
松江市	34,433	33,428	▲2.92	328,316	326,441	▲0.57	7,881,927	7,746,038	▲1.72
浜田市	9,934	9,402	▲5.36	101,456	98,433	▲2.98	2,560,971	2,418,706	▲5.56
出雲市	30,951	29,929	▲3.30	296,301	293,491	▲0.95	7,193,451	7,175,828	▲0.24
益田市	9,449	9,058	▲4.14	96,260	94,288	▲2.05	2,169,595	2,033,843	▲6.26
大田市	7,092	6,816	▲3.89	67,408	67,644	0.35	1,731,666	1,740,200	0.49
安来市	7,478	7,038	▲5.88	65,471	63,701	▲2.70	1,913,861	1,776,015	▲7.20
江津市	4,515	4,434	▲1.79	44,197	43,213	▲2.23	1,378,890	1,325,527	▲3.87
雲南市	7,231	6,886	▲4.77	69,862	66,402	▲4.95	1,830,669	1,741,419	▲4.88
奥出雲町	2,570	2,419	▲5.88	24,455	23,938	▲2.11	626,300	627,302	0.16
飯南町	976	930	▲4.71	8,901	8,578	▲3.63	258,989	242,384	▲6.41
川本町	660	634	▲3.94	5,573	5,725	2.73	186,578	209,766	12.43
美郷町	965	906	▲6.11	9,072	8,722	▲3.86	253,055	278,092	9.89
邑南町	2,439	2,314	▲5.13	20,353	19,906	▲2.20	546,550	492,761	▲9.84
津和野町	1,690	1,595	▲5.62	18,024	17,588	▲2.42	484,810	408,082	▲15.83
吉賀町	1,318	1,240	▲5.92	13,192	12,836	▲2.70	328,525	319,721	▲2.68
海士町	558	544	▲2.51	2,966	2,885	▲2.73	109,157	132,956	21.80
西ノ島町	760	729	▲4.08	5,438	5,125	▲5.76	191,211	179,507	▲6.12
知夫村	205	200	▲2.44	1,088	1,104	1.47	45,079	56,908	26.24
隠岐の島町	3,331	3,210	▲3.63	23,340	23,108	▲0.99	798,400	855,237	7.12
市町村計	126,555	121,712	▲3.83	1,201,673	1,183,128	▲1.54	30,489,682	29,760,292	▲2.39
医師国保	1,903	1,876	▲1.42	10,983	11,446	4.22	185,168	202,235	9.22
県合計	128,458	123,588	▲3.79	1,212,656	1,194,574	▲1.49	30,674,850	29,962,527	▲2.32

※千円未満四捨五入

表3 上半期保険者別医療費諸率の状況(一般+退職)

(医科・歯科・調剤の計)

保険者名	1人当たり費用額(円)			受診率※(%)			1件当たり費用額(円)		
	令和3年度	令和4年度	伸び率(%)	令和3年度	令和4年度	伸び率(%)	令和3年度	令和4年度	伸び率(%)
松江市	228,908	231,721	1.23	628.05	637.80	1.55	24,007	23,729	▲1.16
浜田市	257,808	257,268	▲0.21	654.73	670.12	2.35	25,242	24,572	▲2.65
出雲市	232,414	239,761	3.16	604.64	618.18	2.24	24,278	24,450	0.71
益田市	229,619	224,544	▲2.21	613.57	628.01	2.35	22,539	21,571	▲4.29
大田市	244,159	255,324	4.57	617.87	640.42	3.65	25,689	25,726	0.14
安来市	255,921	252,335	▲1.40	595.02	606.06	1.86	29,232	27,880	▲4.63
江津市	305,436	299,014	▲2.10	623.06	622.15	▲0.15	31,199	30,674	▲1.68
雲南市	253,163	252,880	▲0.11	644.24	641.19	▲0.47	26,204	26,225	0.08
奥出雲町	243,695	259,359	6.43	581.25	605.42	4.16	25,610	26,205	2.32
飯南町	265,312	260,721	▲1.73	593.96	594.08	0.02	29,097	28,256	▲2.89
川本町	282,694	330,774	17.01	535.91	565.00	5.43	33,479	36,640	9.44
美郷町	262,278	307,001	17.05	671.92	681.25	1.39	27,894	31,884	14.30
邑南町	224,103	212,917	▲4.99	571.43	588.04	2.91	26,854	24,754	▲7.82
津和野町	286,954	255,825	▲10.85	626.81	646.70	3.17	26,898	23,202	▲13.74
吉賀町	249,323	257,839	3.42	584.52	606.21	3.71	24,903	24,908	0.02
海士町	195,621	244,405	24.94	480.64	473.72	▲1.44	36,803	46,085	25.22
西ノ島町	251,703	246,126	▲2.22	474.30	454.52	▲4.17	35,162	35,026	▲0.39
知夫村	220,255	285,254	29.51	451.46	459.15	1.70	41,433	51,547	24.41
隠岐の島町	239,699	266,429	11.15	470.78	478.79	1.70	34,207	37,010	8.19
市町村計	240,925	244,517	1.49	612.64	624.17	1.88	25,373	25,154	▲0.86
医師国保	97,295	107,801	10.80	397.70	414.23	4.16	16,860	17,669	4.80
県合計	238,797	242,441	1.53	609.46	620.99	1.89	25,296	25,082	▲0.85

※受診率の算出には調剤レセプト件数を含めていない

『モデル実施』～マイナス2・2チャレンジ～ オンラインセミナーのご案内

特定保健指導の実施率向上に向けて、費用を抑え、効率的に実施する方策を検討されているご担当者向け無料オンラインセミナーのご案内です。このセミナーでは、令和6年4月からの「第4期特定健診・特定保健指導等」に向けて始まった検討についても、その最新情報をお伝えします！

参加無料

「アウトカム評価」「ICTの活用」の推進に準拠した

『モデル実施』の効果的な進め方オンラインセミナー

開催日時 令和5年1月26日(木)〈申込締切 1月20日(金)〉

令和5年3月28日(火)〈申込締切 3月23日(木)〉

時間 15:00~16:30

定員 各30名(申込先着順)

参加方法 ZOOMミーティング

内容

厚生労働省 高齢者医療運営円滑化等補助金事業における「レセプト・健診情報等を活用したデータヘルスの推進事業」採択案件

1. 「モデル実施」の現状と第4期に向けたワーキンググループの動きについて
2. 特定保健指導モデル実施「マイナス2・2チャレンジ」の有用性とコスト抑制効果のご紹介
3. コールセンター等を活用した「電話動奨」による特定保健指導の利用促進について
4. 質疑応答

※～マイナス2・2チャレンジ～は、上記補助金事業において、平成29年度から3年連続で採用された(株)インサイト開発の健康インセンティブプログラムです。


https://wellme4.jp/model_seminar/202301/

お申込み

上記QRからWebにアクセスの上、お申し込みください。追って弊社からご連絡いたします。

主催 株式会社 社会保険出版社／株式会社 インサイト

株式会社 社会保険出版社
http://www.shaho-net.co.jp 社会保険出版社 検索

お問い合わせ TEL 06(6245)0806 大阪支局

大阪市中央区博労町4-7-5 〒541-0059
本社 TEL.03(3291)9841 / 九州支局 TEL.092(413)7407



図4 1人当たり費用額（一般＋退職）
（令和4年3月～8月診療分）

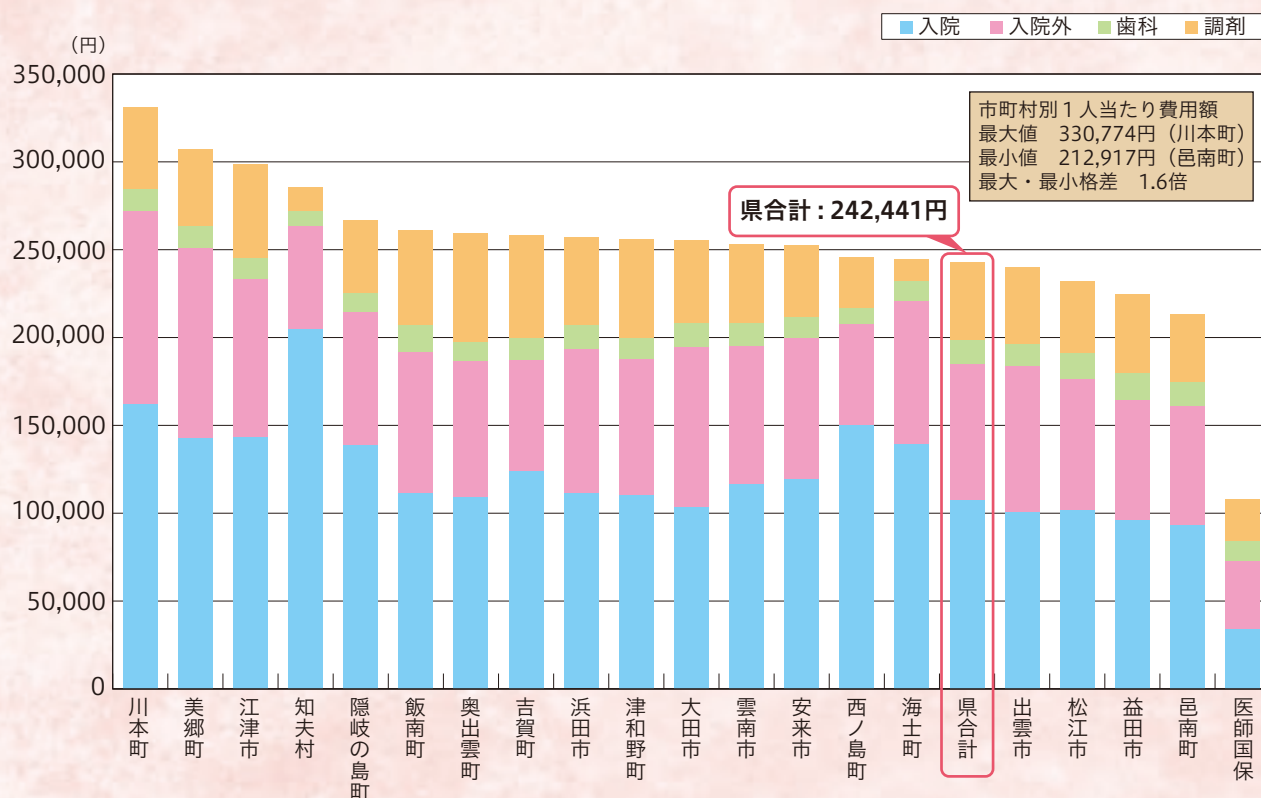


図5 1人当たり費用額の診療区分別内訳【県合計との差】（一般＋退職）
（令和4年3月～8月診療分）

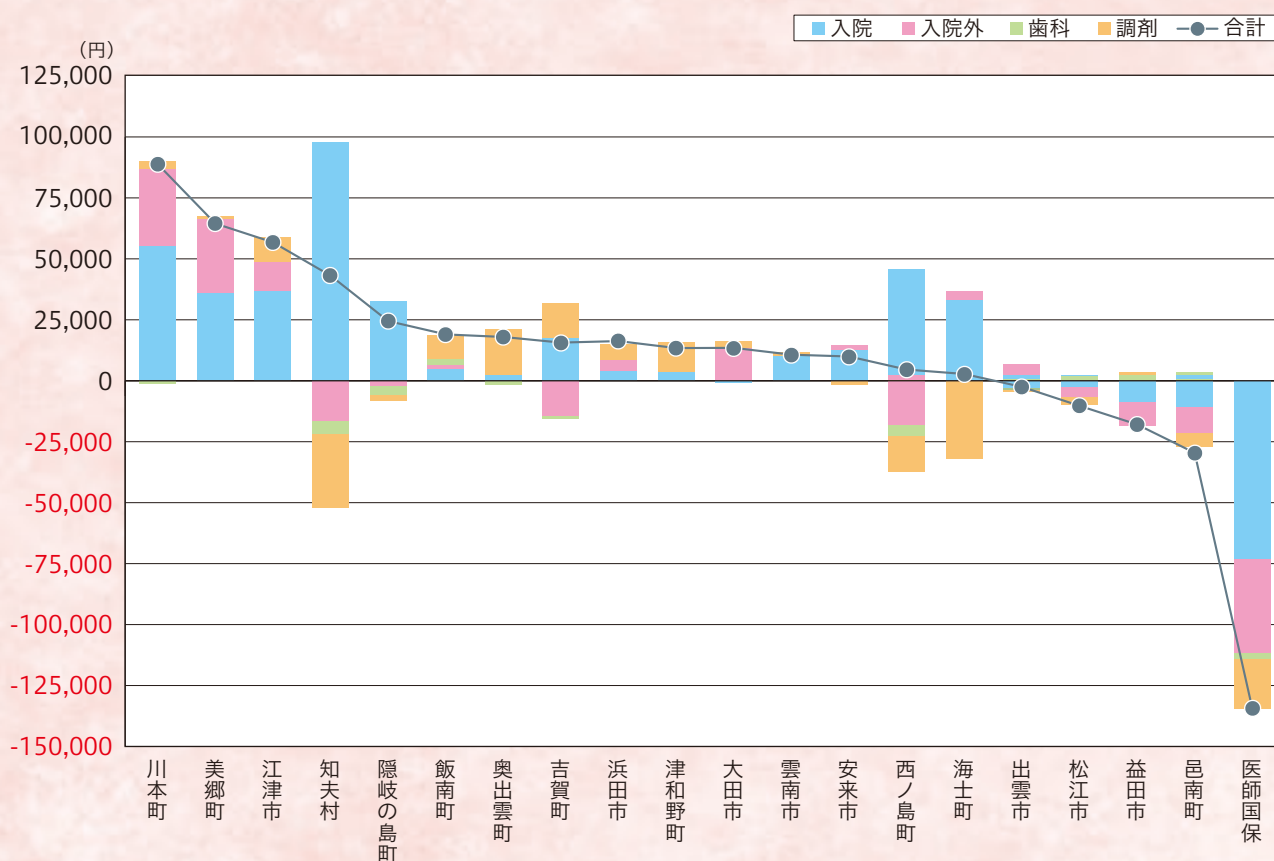


図6 保険者別1人当たり費用額（一般＋退職）
（令和4年3月～8月診療分）

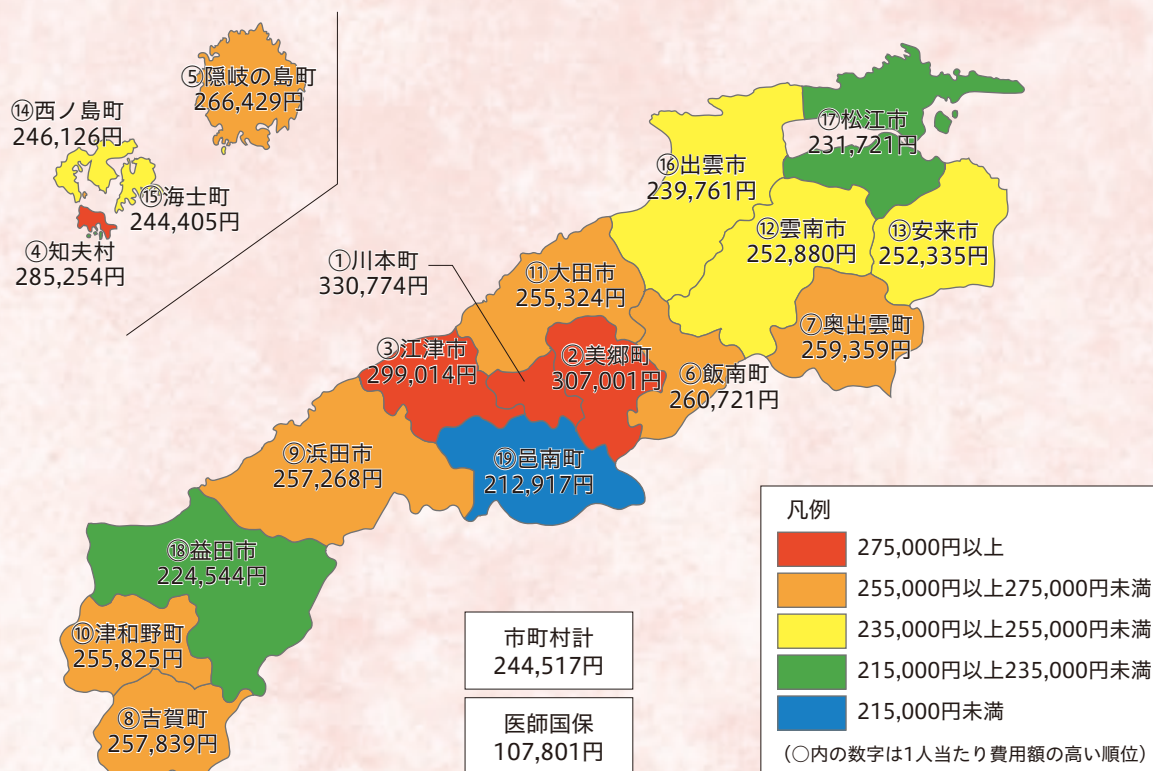
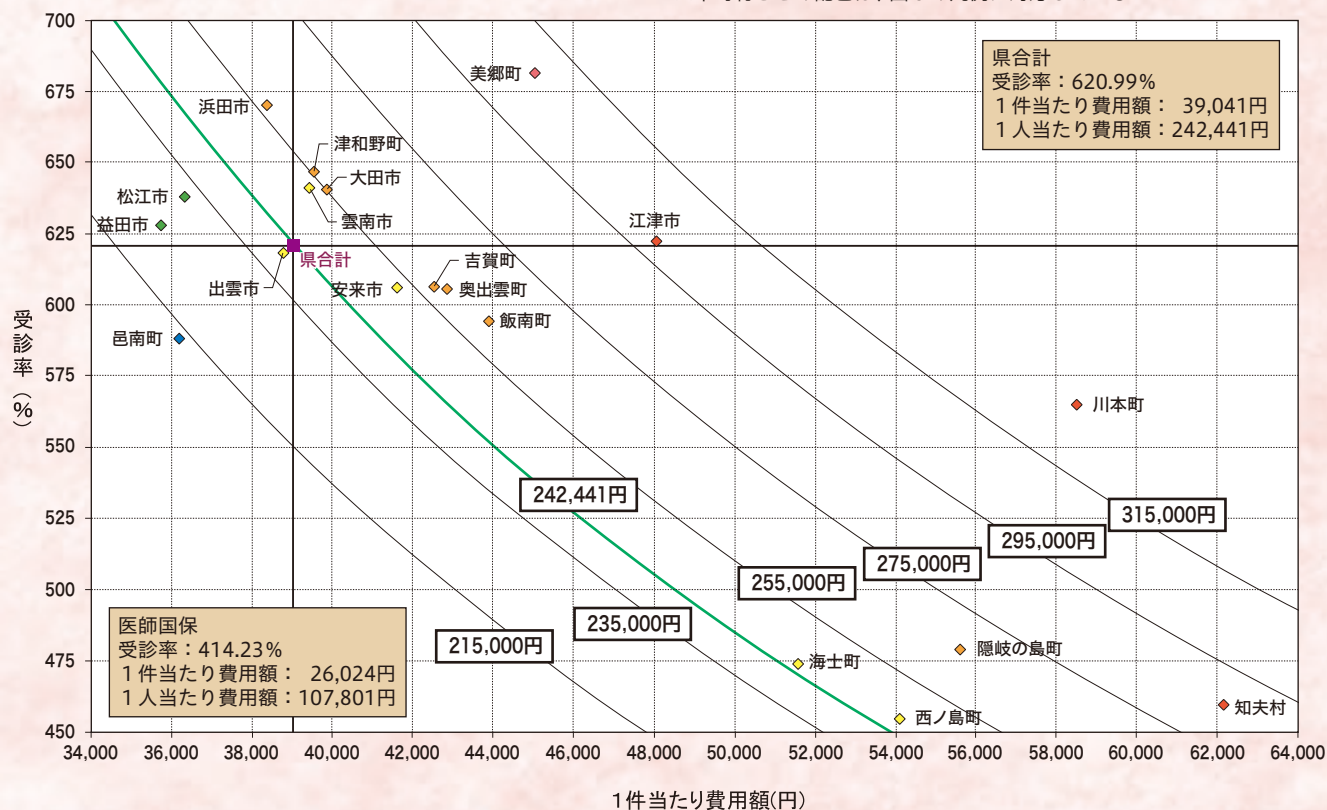


図7 1件当たり費用額と受診率の相関図（一般＋退職）
（令和4年3月～8月診療分）

（医科＋歯科＋調剤）

※受診率および1件当たり費用額の算出には調剤件数を含めていない
 ※曲線は1人当たり費用額を表す
 ※市町村ごとの配色は、図6の凡例に対応している



国保 ストリート

K O K U H O
S T R E E T

ボールの軌道を見極めて…かっ飛ばす!!

今年一年が 良い年になりますように

川本町 健康福祉課
主事どうめん
堂面りょう
諒

川 本町は、「音楽の町」とも呼ばれています。かつて島根県立川本高等学校（現島根中央高等学校）吹奏楽部が全国コンクールでたびたび優勝を飾ったことから、昭和60年の合併30周年式典で「音楽の町」を宣言しました。以来、千人収容の県内有数の音楽ホールを持つ「悠邑ふるさと会館」や「かわもとおとぎ館」など、音楽をモチーフとした施設が町に多数誕生しました。

そんな川本町で生まれ育った私は、令和4年の4月に川本町役場の職員として採用され、健康福祉課に勤務しています。担当業務は、福祉医療、乳幼児医療・子ども医療、未熟児医療、児童手当、結婚新生活支援事業等です。どの業務も初めてのことばかりで大変ですが、先輩方が丁寧に教えて下さるのでとても助かっています。また、住民の方から感謝の言葉をいただいた際に仕事のやりがいを感じています。まだまだ知識・経験不足な私ですが、多くのことを学び・吸収して住民のみなさんから信頼される職員になれるように日々努力を重ねていきたいと思っています。

さて、話は変わりますが、私の趣味の話をしようと思います。私の趣味は野球です。私は小学1年生の頃から野球をはじめ大学まで野球をしてきました。現在も川本町にある野球チームに入り休日には野球をしています。私は特にバッティングが好きで、ヒット・ホームランをたくさん

打てるよう自分に合った理想のフォーム・スイングを考えるのが面白いと感じています。

また、プロ野球観戦をすることも趣味の一つです。シーズン中は、我が家では必ずプロ野球中継を観ながら夜ご飯を食べています。今シーズンは私と同年のヤクルトスワローズ・村上宗隆選手が日本選手年間最多56本塁打、史上最年少の22歳で三冠王達成という偉業を成し遂げました。同学年の村上選手の活躍をみてエネルギーをもらっています。野球の話をすると長々と語り出して終わりがみえなくなってしまうのでこのへんにしたいと思います。

最後に新年の決意をしたいと思います。

「多くのことを学び・経験して充実した1年にする」

疑問に思ったことがあれば積極的に質問をする。また、住民の方に窓口で説明するときにはどうしたらわかりやすく説明できるか考え工夫をするなどして、少しでも私の理想とする職員像に近づけるように日々の業務に全力で取り組んでいきたいと思っています。



充実した1年にします

ガンパッテマス



令和元年度「命の授業」にて
マスク不要な時代が待ち遠しいです

地域に溶け込む 身近な保健師に



松江市 東出雲支所
市民生活課 保健師

あんどう 安藤 洸

黄

金色に輝く柿一色の景観を目にしたことは
ありませんか。東出雲町畑集落は全国でも

有数の干し柿産地であり、晩秋には実をつけた
約5000本の柿の木とガラス張りの小屋につる
された柿が一面に広がります。東出雲地区（旧
東出雲町）は人口約1万5000人。多くの住宅が
立ち並びますが、歴史や文化を感じさせる観光
名所や色彩豊かな自然も有しており、さまざまな
顔を持つ素敵な町です。

私は松江市に入庁し4年目になりますが、今年度
から東出雲支所に配属となりました。東出雲支所
には旧東出雲町時代の先輩保健師の積み重ねが今も
数多く残っており、慌ただしくも刺激を受けながら
楽しく勉強させていただく毎日です。

支所にいると、毎日のように誰かが保健師を
訪ねて来られます。「赤ちゃんの体重を測りたい」
「体や心の相談をしたい」「家族のことで話を
聞いてほしい」など、住民さんは「困ったら保健師
に相談しよう」という認識を持っており、保健師が
非常に身近な存在となっています。これまで先輩
方が築いてきた地域との信頼関係の賜物だなと
実感しています。

先日、子育て相談がしたいと私を訪ねてくれた
お母さんがいました。赤ちゃん訪問でお会いした方
でしたが、訪問の時に比べ表情は曇りがちでした。
話を聞くと、乳児の成長と共に分からないことが
増え不安が強いこと、コロナ禍で外に出られず
相談できる人がいないこと等が背景にありました。

保健師を頼ってくれたことをうれしく思う一方で、
お母さんの中には周囲を頼れず地域で孤立している
人も多いかもしれない、保健師は困った時や悩ん
だ時、助けを求めることができるよう住民さんに
とって身近で相談しやすい存在でなければならな
いなど改めて感じた瞬間でした。訪問や健康相談
など、直接会える機会や日々の出合いを大切に、
それぞれの生活に寄り添うことで住民さんにとつて
地域に溶け込む身近で頼れる保健師を目標にこれ
からも地域に出かけていきたいと思います。

また、男性保健師の数はまだ少なく、関係機関や
地域にて「珍しいね」と言われることもあります。
私ははじめ「男性保健師としてできること」に
固執し、自ら活動の幅を狭めていたように思い
ます。そんな時先輩の男性保健師に言われた「性別
関係なく一人の『専門職として』地域と向き合う
こと」という言葉がきっかけで考え方を見つめ直す
ことができ、今も
大切にしている
言葉です。まずは
日々の地域活動や
気づきを通して
保健師として成長
したうえで、男性
保健師を生かした
活動を探していき
たいと思います。



健康啓発を兼ねたイベントにて

みなさんこんにちは。雲南市の北湯口です。

コロナ再拡大や寒波襲来で、何かと心配な年末年始だった方も多いのではないのでしょうか。コロナ禍をはじめ、ウクライナ侵攻や景気の低迷など、不安な社会情勢下ではありますが、元気よく飛び跳ねる^{うさぎ}兎のごとく、閉塞感や暗い気持ちを跳ね飛ばし、活気を取り戻す、今年はそんな一年であってほしいものです。

まだまだ積雪が心配な時期が続きます。嫌というほど除雪作業をされた方もいると思いますが、スコップでのややきつめの雪かき作業の運動強度はエアロビックダンス（有酸素運動を主体とするダンス運動）を上回るの、実は立派な健康体力づくりの全身運動になっています。とはいえ、寒さの中での急な運動となると、心臓や血管、足腰に急激な負担がかかり、健康効果より危険が上回ってしまいます。決して無理をせず、休み休み作業をし、雪かき後の体のケア（軽めのストレッチング）もぜひ忘れずに行うようにしてください。

さて、今回は、体の動かし過ぎや使い過ぎによる健康影響について紹介します。

それではよろしく願いいたします！



この冬はより一層、仕事での座り過ぎを防ぐことの重要性が高まっていると言えそうです。ぜひとも事務系職場や家庭での「30分に一度は（座位を中断し）、立つ」の実践を、一緒に徹底しましょう（自戒を込めて）。

今回は事務系労働者（デスクワーカー）の座り過ぎの問題を中心に、それによる健康への影響や誰でも簡単に実施できる対策を紹介しました。この冬、寒波やコロナ禍のために、仕事やプライベートに関わらず座位時間が増えたという人も多いと思います。繰り返しになりますが、座っている時間の長さは、心臓や脳、筋肉や関節にダメージを与える長さと同じで、生活習慣病や筋骨格系疾患の発症リスクとなります。そもそも寒さによる刺激は過度な血管の収縮を来しやすく、ただでさえ心血管疾患の発症リスクが高まりやすい時期でもあります。

座り過ぎ対策の振り返り

働き盛り世代の身体活動編

身体活動の コツ

あなたもきつとできる！

第53回



身体教育医学研究所うなん
主任研究員

きた ゆ ぐ ち じゅん
北湯口 純

●プロフィール

平成18年4月に雲南市が設置した研究機関で、地域の健康づくり政策の形成に資する実践的学術研究の推進に取り組んでいる。今年度の主要研究テーマは、「スポーツによる地域共生社会の実現に向けた実践評価モデルの構築」。

博士（環境共生学）、修士（武道・スポーツ学）、健康運動指導士、島根大学研究・学術情報機構地域包括ケア教育研究センター客員研究員、日本転倒予防学会理事、日本体力医学会評議員、日本運動疫学会編集委員、日本運動器疼痛学会代議員など。

●最近の著書（共著含む）

- 1) Abe T, Kitayuguchi J (joint first authors), et al. Fundamental movement skills in preschoolers before and during the COVID-19 pandemic in Japan: a serial cross-sectional study. Environmental Health and Preventive Medicine (2022) 27:26
- 2) Kitayuguchi J, Abe T, et al. Association between hilly neighborhood environment and falls among rural older adults: a cross-sectional study. Journal of Rural Medicine.16(4):214-221.2021

体の使い過ぎ、過った使い方 「過活動」にも注意

前述のように、身体活動と健康の話題となると運動不足や生活不活発といった「不活動」の側面が取り上げられがちです。ただ、体の動かし過ぎや使い過ぎといった「過活動」(活動が多過ぎることだけでなく、過った体の使い方も含む)による健康への影響も決して見逃せません。

その一例となる職業性疾病(仕事の影響と考えられる病気)として、「腰痛」があります。厚生労働省の統計によると、休業4日以上の職業性疾病の6割を「腰痛」が占めるとされています¹。腰痛はさまざまな要因(個人・動作・環境・心理社会的要因)²が複合的に関与して発生したり悪化したりすることが知られています。なかでも腰部に直接負担がかかる動作要因が腰痛に与える影響は大きく、具体的には、①重量物取り扱い作業、②立ち作業(長時間立ったまま、作業台が体格に合わないなど)、③座り作業(不自然な姿勢での作業、硬い座面に長時間座るなど)、④福祉・医療分野等における介護・看護作業(ベッド⇄車いすの移乗介助など)、⑤車両運転等の作業(建設機械の操作・運転による激しい振動、トラック・バス・タクシーなどの長時間運転)の5つが、腰痛が発生しやすい動作要因として挙げられています³。

腰痛が多い職種とその対策

業種の中でも、特に介護・看護に関わる「医療保健業」や「社会福祉施設」は腰痛を訴える人が多いことで知られており、立ち作業や商品陳列を繰り返す「小売業」、長時間運転や荷受・荷積作業の多い「道路貨物運送業」も、

腰痛発生が多い職場とされています²。いずれの職種も、業務特有の作業や姿勢の反復が腰部への過度な負担となり、腰痛が起こりやすくなる原因となります。対策上は当然その負担を減らすことが優先されますが、業務として避けられない面もあることから、単に量を減らすだけでなく、管理体制の見直しや予防教育とその実践を徹底するなど、より具体的に実効性のある対策が必要になってきます。

最も重要なポイントは、職場(腰痛が起きにくい労働環境づくり、予防教育・指導の実践)と職員(日々の健康管理)が一体となって取り組むことに尽きますが、その予防対策として最も手軽に実践できる有効な対策の一つに「腰痛予防体操」があります^{1,3}。

体操を含む運動の実践は、慢性腰痛に有用な方法として腰痛診療ガイドライン⁴でも推奨されている方法です。その種類としては「ストレッチング」や「筋力トレーニング」を取り入れることが大切です。それらを効果的に組み合わせた医師監修による健康体操が厚生労働省サイトで動画にて紹介(下図参照)されていますので、実際に腰痛が気になっている職員や職場全体で取り組んでみたいという管理者の方々は、ぜひご覧になって実践してみてください。

日頃の「姿勢」にも気を付けて

運動以外にも、普段から気を付けられることがあります。それは「姿勢」です。多くの腰痛には不良姿勢が関連していることから、仕事だけでなく日常生活から「猫背・前かがみ」といった腰部に負担のかかりやすい姿勢や動作には注意しましょう。猫背の常習化は、背中の筋肉が常に緊張して血流不足にもなるため、痛みの発生や悪化にもつながってしまいます。

何より、痛みは体の不調のサインですから、無理をせず、まずは専門の医療機関を受診しましょう。

(続く)

図 厚生労働省による腰痛予防対策の推奨サイト¹



- 厚生労働省, 職場における腰痛予防対策指針及び解説。
https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000034et4-att/2r98520000034mtc_1.pdf
- 日本整形外科学会・日本腰痛学会監修, 腰痛診療ガイドライン2019 (改訂第2版), 2019, 南江堂

お手軽

メタボ解消！健康への道

ヘルシー料理教室



さば缶と季節の野菜の蒸し煮

「魚が食べたくても料理が面倒…」そんなときは、缶詰を使ってみてはいかがでしょうか。便利なうえに魚の骨まで食べられ、カルシウムもしっかり取ることができます。

今回は、さば缶と旬を迎えたレンコンを使って、簡単に作れる蒸し煮を紹介します。仕上げには粉チーズを加え、洋風の味わいにしました。おうちで、アツアツのできたてをお楽しみください。

【材料（2人分）】

さば水煮缶……………1缶（160g）
レンコン……………70g
玉ネギ……………小1/2個（60g）
ニンジン……………30g
マイタケ……………40g
ニンニク（みじん切り）…1片
オリーブオイル……………大さじ1/2

（調味料）

白ワイン（または清酒）…50ml
コンソメ……………小さじ1/2

粉チーズ……………適量
パセリ・コショウ……………少々

【作り方】

- ① レンコンは皮をむき、薄い半月切りにする。玉ネギは1.5cm角に切る。ニンジンはイチョウ切りにする。マイタケは小房に分ける。ニンニクはみじん切りにする。
- ② フライパンに、オリーブオイルとニンニクを入れ弱火にかけ、香りがたったら玉ネギを加え、透き通るまで炒める。
- ③ ②にさば水煮缶（汁気を切ったもの）、レンコン、ニンジン、マイタケを入れて混ぜ合わせる。
- ④ 調味料を入れ、ふたをして弱火で約5分蒸し煮にする。
- ⑤ 器に盛り、粉チーズ、パセリ、コショウを加える。



島根県栄養士会
はせがわ さとい
長谷川 智

【1人分】

エネルギー 256kcal 塩分 1.1g

〈一口メモ〉

- ・粉チーズの代わりに、ゆずの果汁をかけると、香りと酸味の効いたさっぱりとした味わいになります。
- ・魚の水煮缶は、それぞれで塩分量が異なりますので、場合によっては、調味料を調節してください。
- ・生魚や鶏むね肉を使ってもおいしくできます。その際は、蒸し時間を加減しましょう。



ホッと一息 ココロの 和カフェ



いちばたやくし 一畑薬師管長 (いちばたじ 一畑寺住職)
いいづか だいこう
飯塚 大幸

現代社会を特徴づけるものとして、“ストレス”があります。時間に追われ、ゆったりとした生活をする事ができず、心のバランスも崩れてしまいます。職場におけるメンタルヘルスが重要視される中、ここでは、一畑薬師管長の飯塚大幸氏に“心の健康”についてお話をいただきます。『ココロの和カフェ』でホッと一息つきませんか？

真心 ―月の兎―

新年おめでとうございます。今年は干支の4番目の卯年です。兎はおだやかな性質なので「温厚」、よく跳びはねるので「飛躍」の意があります。植物では「成長」を表します。不毛な戦乱が鎮まり平和な一年となりますよう念じますばかりです。

お釈迦さまの前世の逸話を集めた『ジャータカ物語』に「月の兎」の話があります。皆さんもよくご存じの、兎は月で餅をついている、月の影が兎の姿をしている、その由縁となったお話です。

「あるとき菩薩は兎に生まれ変わりました。自分だけ良ければいいのではなくて、他人のことも心配するべきという布施の心が説かれました。帝釈天（インドの雷神）が老人の姿になって施しを求めました。兎の友人たち（サル、キツネ、カワウソ）は自分たちの食べ物を施しました。しかし、草しか食べない兎には何も施すものはありません。自分の無力を嘆いた兎は、自らを食として捧げようと火の中に飛び込みました。ところが火は涼しく、その老人が帝釈天であったことを知ります。兎の慈悲に感銘を受けた帝釈天は、兎を月にあげました。」

真心とは、兎のような、やさしい純真無垢な心です。それは、生まれながらにすべての人がいただいている心であり、仏の心といつてよいでしょう。しかし、ときに自己中心的な思い込みや

迷いにより、私たちの心は塵や垢に覆われ、本来の輝きを見失うことしきりです。自らの内に真心を見る、これを信じて明らかにするのが人生です。おかげさまの心、感謝の心で毎日を過ごしたいものです。

飯塚 大幸 / いいづか だいこう

いちばたやくし 一畑薬師管長 (いちばたじ 一畑寺住職)

昭和35年 島根県出雲市(旧平田市)生まれ
昭和48年 13歳で京都・大珠院(盛永宗興師)へ弟子入り

昭和58年 駒澤大学仏教学部 卒業
昭和58年 埼玉・平林寺専門道場へ入門(6年間)
平成元年 ロンドン仏教協会 禅センターへ留学(1年間)
平成5年 一畑寺 住職(現職)
平成14年 一畑薬師教団 管長(現職)

- ・ 社会福祉法人真心会 理事長
- ・ 山陰尺八道場 第三代 道場主
- ・ 島根半島四十二浦巡り再発見研究会 会長
- ・ 出雲縁結び街道振興協議会 会長

○趣味 尺八、自転車、ジョギング



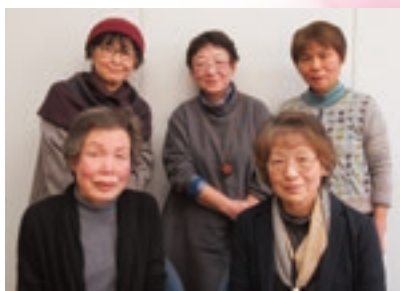
2023年(令和5年) 癸卯

島根県在宅保健師等の会「ぼたんの会」は、県内二次医療圏単位7つの地区において、住民に寄り添いながら各地区の特性を生かした活動を展開しています。今回は、松江地区の活動について紹介します。

活動の場を広げて

「ぼたんの会」松江地区

永江 尚美
中尾 千代子
星野 由美
外谷 一子
平野 友子



後列左から星野、外谷、中尾
前列左から平野、永江

「ぼたんの会」松江地区は、ここ3年間、新型コロナウイルス感染症により、支援している事業の縮小や休止等を余儀なくされています。現在は、

ヘルプを始める前の留意事項等」について実技を踏まえた研修を受け、イベントに協力しました。最初は不安もありましたが、声かけの仕方、立ち位置、障害物や階段等の伝え方、導き方等々、研修での学びを生かしながら支援を行い、活動への新たな自信にもつながりました。その後、J R P S 山陰から、再びイベント（奥出雲町の観光）支援の依頼があり、2名の会員が、9月の経験を生かし

ながら支援を行ったところです。J R P S 山陰からは、「ぼたんの会」の支援者が、優しく介助して下さりとてもうれしくありがたかった」とのお礼の声も届きました。

また、松江地区で継続的に実施している活動に、「安定ヨウ素剤事前配布」への支援があります。これは、他地区にはない、松江地区特有の活動の一つです。島根県医療政策課からの依頼を受け、平成29年から問診等の協力をしています。令和4年は、7月、8月、12月に延べ18名の会員が協力しました。事前配布に協力はしていますが、今後も原発事故が起らないことを祈るばかりです。

支援活動の一つ一つは、会員自身の健康づくりにもつながっています。これからも在宅保健師として、できる範囲で協力要請に応じ活動を進めていきたいです。

※世界網膜の日

網膜色素変性症患者の国際団体である国際網膜協会が、疾患に対する啓発と理解を深めてもらう日として定めているもので、世界各国で毎年、この日にあわせてイベントが開催されています。

サロンが再開された地区への支援を中心に活動しているところですが、そんな中、令和4年に新たに加わった活動もあります。令和4年9月23日、24日、「世界網膜の日」※in山陰」が松江市で開催されました。開催にあたり、「ぼたんの会」へ協力依頼があり、山陰網膜色素変性症協会（J R P S 山陰）の方々から説明を受けました。10名の会員が、事前に「ガイドヘルプの5つの基本」「ガイド



再開されたサロン活動（東生馬なごやか会）



安定ヨウ素剤事前配布



世界網膜の日in山陰

任務を知ることについて



樽見 英樹

たるみ ひでき

生年月日
1959年11月21日

日本年金機構 副理事長
元厚生労働事務次官

【学歴】

1983年 3月 東京大学法学部卒業

【職歴】

1983年 4月 厚生省入省
1993年 5月 在米国日本国大使館一等書記官
1998年 4月 北海道保健福祉部高齢者保健福祉課長
2004年 7月 総務省行政管理局管理官
2008年 7月 社会保険庁総務部総務課長
2012年 9月 厚生労働省大臣官房人事課長
2013年 7月 厚生労働省大臣官房年金管理審議官
2016年 6月 厚生労働省大臣官房長
2018年 7月 厚生労働省保険局長
2019年 7月 厚生労働省医薬・生活衛生局長
2020年 3月 内閣官房新型コロナウイルス感染症
対策推進室長
2020年 9月 厚生労働事務次官
2021年10月 厚生労働省退官
2022年 1月 日本年金機構 副理事長

日本年金機構に勤めるようになって、改めて人事と人事評価というものの大切さを感じている。機構は全国に312の年金事務所と15の事務センターを持つ組織であり、約1万1千人の正規職員だけでなく、出自を見ればもと県庁採用の公務員出身者、旧社会保険庁本庁採用の公務員出身者、民間企業出身者、機構発足以降の採用者から構成されており、さらに有期雇用と無期雇用の非正規職員も合わせて、正規職員とはほぼ同数働いている。こうした職員にそれぞれの力を発揮してもらい、同時に本部の経営方針を徹底するためには、人事の公平公正が極めて重要なのである。しかも、年金機構では、経営方針に

基づく業務目標の達成度合いというもの、保険料の納付率にしても、事務処理に要した期間にしても、数値で出る。それだけに、年金機構では基準の設定の仕方や具体的な評価の方法について、評価する側も、厳しく問われているように日々感じざるを得ない。信賞必罰、と言うのはたやすいが、これはなかなか容易なことではなくて、評価をする側の見識と覚悟も、職員の前に試されている。

同じく全国組織であるとは言っても、率直に言って厚生労働省ではそれほどではなかった。厚生労働省でも数万人の職員が働いているが、特に職員数の多い現業部門（労働局や検疫所など）の人事は

基本的にそれぞれの部門で行っており、本省の次官や官房長が人事を行うのは専ら本省の職員についてに過ぎない。また厚生労働省の職員は原則全員が公務員であり、それなりに同種の経歴と一体感を持つている。評価の基準という点でも、行政官としての能力というものは数値化が難しく、逆に言えば反論にさらされにくい。

そもそも、あらゆる組織はそのパフォーマンスを世に問われている訳だが、公的組織はパフォーマンスが収益という形で出ないために、何を目標とし、何をもってその達成度を評価するか、ということ自体が、経営陣の力量を示すひとつの指標と言えそうである。その力量とは結局、組織の任務が何であるかをいかに的確に把握するかということにかかってくる。

さて、それでは、国保の保険者の任務というものは何だろうか。

年金機構と同じく、国保の保険者も実務の組織であるから、保険料を被保険者ごとに正確に算定し、徴収し、医療費を正しく給付することが必要である。その際、(釈迦に説法で恐縮だが)保険料を払ってくれない層にどう働きかけるかや、給付の方ではレセプトをいかに効果的にチェックして無駄な給付を防ぐかという

ところが、言わば腕の見せ所となるだろう。何と言っても正確で公正な制度の運用が、住民の生活の安心と安定を目的とする国保制度の基礎となる。

年金と違うのは、受診率を下げること、あるいは提供される医療の内容を効率化することによって給付の抑制を図ることができるといふ点だ。受診率を下げることは住民の健康度を上げることであるので、その意味でも住民生活の安心・安定という制度の本旨にかなう。一方こうしたことについては、健康づくり、医療や薬事の提供体制、介護予防など、都道府県との調整を含めて、行政機構内部での横の連携が不可欠となってくる。また、地域の状況によつて取り組むべき内容も違い、それが取り組みがよいというものでもあるだろう。

こうしたことは既に多くの自治体で実施されていることだと思う。しかし、それぞれの取り組みについて、目的と手段を明らかにし、具体的な目標を立て、達成度合いを評価すること、そしてそれを継続すること、そうしたことが、任務をきちんと把握しているということなのではないかと思うのである。保険者の見識と覚悟が、住民の前に試されている。そうした認識が、具体的な効果を導くのではないだろうか。

日	行 事
1	全国国民健康保険診療報酬審査委員会会長連絡協議会 〔第3回〕〔東京都（テレビ会議併用）〕 全国国保連合会第三者行為求償事務担当者等研修 〔東京都〕（～2日）
2	全国国保連合会審査担当課（部）長会議 〔東京都（テレビ会議併用）〕
6	国保データベース（KDB）システム担当者説明会 〔テレビ会議〕
7	介護給付適正化研修会〔Web会議〕 診療報酬適正化連絡協議会〔本会〕
11	診療報酬請求事務能力認定試験〔広島県広島市〕
12	島根県子ども・若者支援地域協議会「実務者会議」 〔Web会議〕 島根県周産期医療協議会〔Web会議〕 第2回監事会〔奥出雲町〕
13	医療費等データ評価・分析研修〔テレビ会議〕（～14日）
15	国保情報集約システムに係る国保連合会向け説明会 〔テレビ会議〕 第2回高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 における市町村への支援体制検討会議〔松江市〕
16	選択研修「OJT（仕事を通じた人材育成）講座」フォロー アップ研修〔松江市〕 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業に係る保険者訪問 〔飯南町〕 弁護士相談〔本会〕 島根県柔道整復療養費審査委員会〔本会〕

日	行 事
17	島根県国民健康保険診療報酬審査委員会〔本会〕 （～22日）
19	次期国保総合システム担当者説明会〔テレビ会議〕
20	全国国保連合会総合調整会議〔テレビ会議〕 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業に係る吉賀町との 協議〔Web会議〕
21	「国保連合会保健事業支援・評価委員会」報告会 〔Web会議〕 障害者総合支援給付審査支払等システム担当者説明会 〔Web会議〕
22	第9回介護保険保険者事務処理システム運営委員会 〔Web会議〕 第2回島根県市町村国保広域化等連携会議〔Web会議〕 介護給付費等審査委員会〔本会〕
23	第2回島根県地域医療支援会議〔Web会議〕 第1回島根県医療審議会総会〔Web会議〕 中国地方国保連合会事務局長・総務担当部（課）長会議 〔テレビ会議〕
26	松江地域保健医療対策会議 医療・介護連携部会 （松江地域医療構想調整会議）〔松江市〕
27	インボイス制度開始に伴うシステム担当者説明会 〔テレビ会議〕



データヘルスのことなら データホライゾンにおまかせください

独自のレセプト分析技術と精度の高い糖尿病腎症重症化予防サービスを活用し、データヘルスのPDCAサイクルをワンストップで提供することができます。



株式会社データホライゾン
広島市西区草津新町一丁目21番35号

データホライゾン

検索

【お問合せ先（西日本営業課）】

082-279-5553

日	行 事
1	中・四国地方国保連合会事務局長会議 [愛媛県松山市] 介護給付適正化中国・四国ブロック研修会 [徳島県徳島市] (～2日) 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業に係る保険者訪問 [知夫村]
2	レセプト点検相談 [安来市]
4	全国国保連合会審査担当課 (部) 長会議 [テレビ会議] 第2回島根県市町村国保広域化等連携会議部会 (東部地区) [松江市] AIを活用した特定健康診査受診率向上支援事業に係る期中報告 [雲南市]
6	第44回川本町産業祭 [川本町]
7	全国国保連合会常勤役員会議 [東京都] (～8日)
8	後期高齢者医療に係る市町村担当課長会議 [Web会議] 国保中央会役員と小規模国民健康保険団体連合会の諸課題検討会議会員との意見交換会 [東京都] 保健事業支援・評価委員会による保険者訪問 [松江市] 審査事務共助知識力認定試験 [本会]
9	レセプト点検相談 [雲南市] 介護保険業務に係る意見交換 [川本町]
10	電算業務等にかかる保険者巡回相談 [浜田市]
11	電算業務等にかかる保険者巡回相談 [吉賀町] レセプト点検相談 [出雲市] 国保制度改善強化に関する市長会・町村会との協議 [松江市]
14	電算業務等にかかる保険者巡回相談 [邑南町]
15	人事評価研修 [Web会議] 国保データベース (KDB) システム部会・国保連合会保健師部会合同会議 [Web会議] 介護保険業務に係る意見交換 [隠岐の島町]
16	国民健康保険料 (税) の滞納者を対象とする多重債務等相談事業 [出雲市、安来市] 電算業務等にかかる保険者巡回相談 [知夫村]

日	行 事
17	国保制度改善強化全国大会運営委員会 (第2回) [東京都] 電算業務等にかかる保険者巡回相談 [海士町] 介護保険業務に係る意見交換 [安来市]
18	国保制度改善強化全国大会 [東京都] ※本誌「TOPICS」4～5ページ参照 電算業務等にかかる保険者巡回相談 [隠岐の島町] 島根県国民健康保険診療報酬審査委員会 [本会] (～24日) 弁護士相談 [本会] 島根県柔道整復療養費審査委員会 [本会]
21	第2回監事会 [出雲市] 第2回島根県保険者協議会定期監査 [本会]
24	介護給付費等審査委員会 [本会]
25	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進に向けた研修会 [Web会議] 島根県市町村職員共済組合レセプト点検 [松江市] (28日、29日、12月1日、2日) 介護保険業務に係る意見交換 [雲南市] 第2回島根県保険者協議会企画調査部会 [本会]
28	介護保険審査支払システム等担当者説明会 (ケアプランデータ連携システム) [Web会議] 審査支払業務検討委員会作業部会ワーキンググループ (第8回) [東京都] (～30日) 第2回理事会 [本会]
29	全国国保連合会常務処理審査委員連絡会議 [テレビ会議] 国民健康保険料 (税) 収納アドバイザー相談事業 [出雲市] 第8回介護保険保険者事務処理システム運営委員会 [本会]



特定健診等実施率向上の取り組みや医療費適正化対策等、今年度事業の実施状況について、また、令和5年度事業計画・予算等について協議を行った。

